

ビデオ対話における顔表情・姿勢の改変による印象変化

～頷きを付加し、ビデオ対話での印象向上を目指す～

工学研究科 電子情報工学専攻 准教授 山添 大丈

研究背景

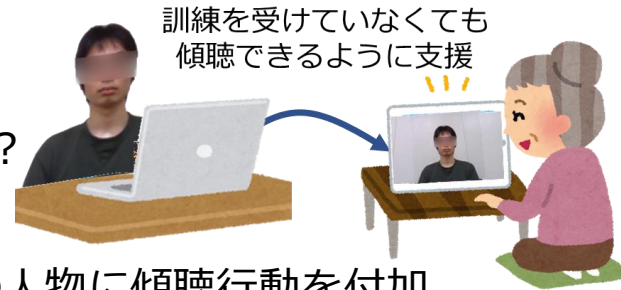
- ・ 独居高齢者の増加に伴い、対話不足の高齢者も増加
- ・ 傾聴ボランティアといったサービスも存在するが、その数は十分とは言えない
- ・ 傾聴にはトレーニングが必要

→ 傾聴ボランティアでなくても、傾聴ができるよう支援するには？



ビデオ対話を対象に、映像中の人物に傾聴行動を付加
それにより、話をしやすい雰囲気作りを目指す

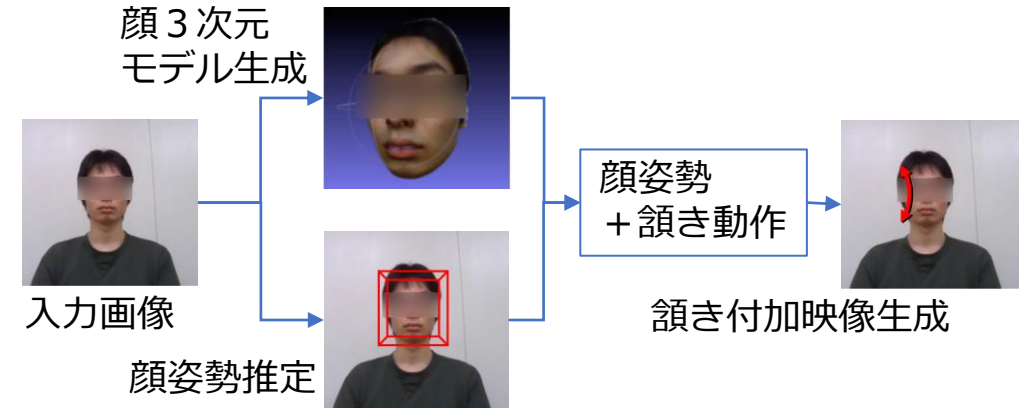
→ 映像中人物への頷き付加による印象向上の検討



提案手法

ビデオ対話中の人物映像に頷きを付加

- ・ 顔画像から顔3次元形状を復元し、顔3次元モデル作成
- ・ 顔3次元モデルを、頷きを付加した頭部運動で動かすことで、頷きを付加した顔の映像を生成



実験

1 6名分の顔画像から4種類の動画（約10秒）を作成

- ・ 頷きなし
- ・ 頷き付加（小頷き1回・小頷き2回、大頷き1回の3種類）

被験者8名に動画を見てもらい、
印象を以下の6項目のアンケート（5段階）で回答

- ・ 好き嫌い、話しかけやすさ、親しみやすさ
聞いてくれそう、魅力、自然さ

結果

親しみやすさ、聞いてくれそうかについて
頷きなし・小頷き2回間で有意差

→ 頷き付加による印象向上を確認

一方で、現在の手法では、首以下の動き・表情変化がなく
それによる不自然さから印象低下も見られている
その解消が今後の課題となる

